

インフルエンザ

2016年50週の県全体の定点当たり報告数は、49週の3.32から増加し4.73となった。7週続けて増加しており、今後の流行状況に注意が必要である。

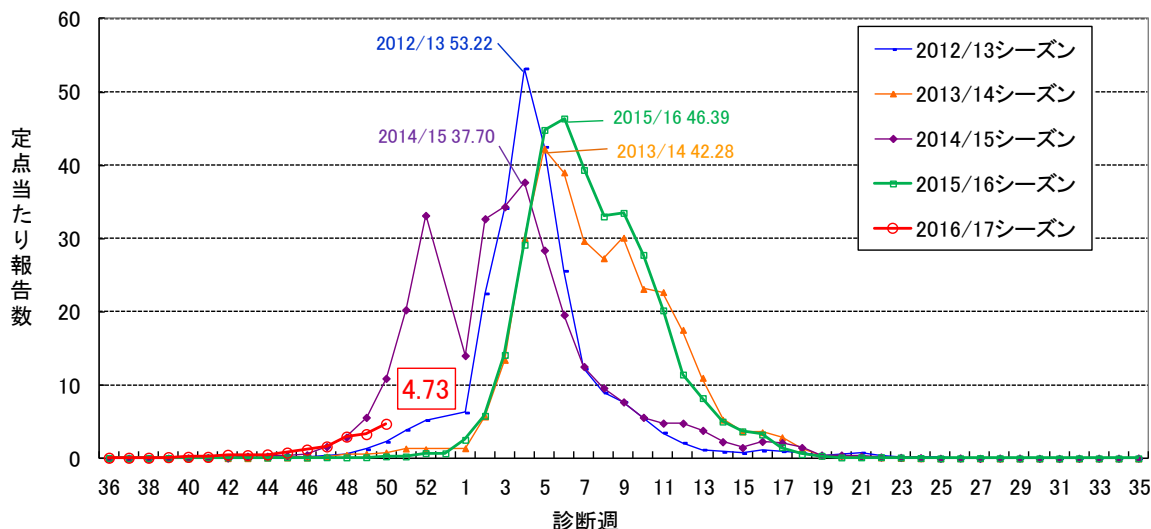
保健所別の定点当たり報告数は、16保健所中14保健所管内で増加し、君津(7.54)、夷隅(7.00)、印旛(6.33)、船橋市(5.65)、松戸(5.40)、習志野(5.25)、柏市(5.14)が多い。

2016年50週の年齢群別報告割合は、5～9歳21.3%、10～14歳20.1%、0～4歳11.3%が多く、2016/17シーズン全体では、5～9歳20.6%、10～14歳20.4%、0～4歳12.7%が多かった。

2016年50週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、975例中A型957例(98.2%)、B型13例(1.3%)、A and B型0例(0.0%)、A or B型5例(0.5%)であった。2016/17シーズン合計では、3,405例中A型3,328例(97.7%)、B型50例(1.5%)、A and B型3例(0.1%)、A or B型24例(0.7%)となった。

平成28年度 今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)
 URL: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



インフルエンザ

